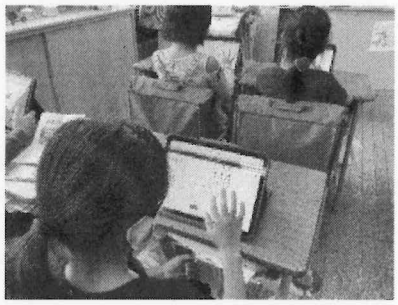
みずのわ

学校だより
【第７号】
令和８年９月30日（水）
石巻市立石巻小学校

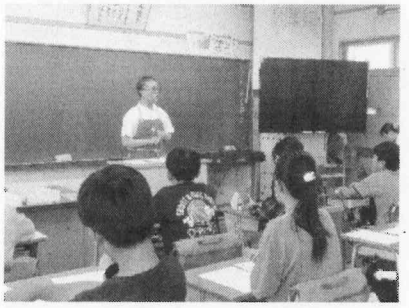
「ゴールはない」からこそ広がる世界

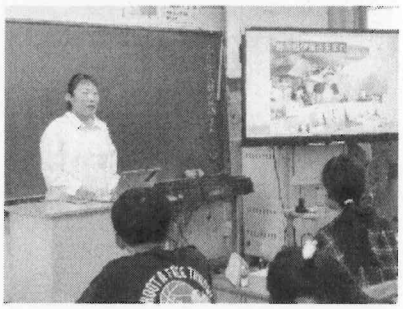
朝夕の風に涼しさが混じり、校庭の木々も秋の気配をまとい始めました。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かい御理解と御協力をいただき、心より感謝申し上げます。

先日、テレビで日本を代表するジャズサックス奏者である渡辺貞夫の歩みを観ました。渡辺さんは、インタビュアーから「ゴールはどこに設定していますか」と聞かれた際に「ゴール？ゴールはありません。ゴールしたら終わりじゃないですか」と答えていました。一つの演奏や成功に満足して立ち止まるのではなく、常に「もっと探求したい」「新しい響きに出会いたい」と歩み続ける生き方は、私たちに深い感銘を与えてくれます。この「ゴールはない」という考え方は、子供たちの学びや成長にとっても大きな示唆を含んでいます。学びはまとめが終わっても、常に疑問を持ち、自ら考え、試行錯誤を重ねる旅ではないかと感じます。



校内を見渡すと、子供たちが日々の授業で学びの楽しさを味わっている場面に数多く出会います。例えば算数の授業。計算の仕方を教えるのではなく、「なぜこの式になるのだろう。」「ほかにどんな考え方があるかな。」と子供たち自身に問い掛け、タブレットによるアプリを効果的に用いながら、思考を深く揺さぶる授業を展開しています。その働き掛けに応えるように、子供たちの目の輝きも大きく変わってきました。少し難しい問題に出会っても、ノートに図を描いたり、友達と「こうじゃないか。」「そうか！」と声を掛け合ったりしながら、答えを探し求めています。正解を出すこと以上に、解き方を考える時間そのものを楽しめるようになってきた姿に大きな成長を感じます。





また、最高学年である６年生は、総合的な学習の時間において、地域で活躍される方々を学校にお招きした学習を始めています。自分たちが生まれ育ったこの街の歴史や文化、そして地域を支える人々の思いに触れる取組です。地域の方々から直接お話に耳を傾ける子供たちの表情は、真剣そのものです。「自分の住む街には、こんなに素晴らしい歴史や魅力があったんだ」という気付きがたくさん生まれてくることを期待したいと思います。教科書では得られない生きた知識と出会うことで、子供たちは故郷への誇りと愛着を深め始めています。地域を知る学びにも、終わりやゴールはありません。学べば学ぶほど故郷の深みを知り、自らの生き方や将来を見つめる大切な糧となっています。

本校ではこれからも、子供たちが自分らしく成長していける環境を整えてまいります。御家庭におかれましても、お子さんが目標に向かって挑む姿を応援していただくと同時に、「～せねばならない」と肩に力が入っているときには、温かく受け止め、見守っていただければ幸いです。子供たちのたくさんの可能性を一緒に育んでまいりましょう。